

H27年度 主要事業報告

I だれもがいつでも楽しめるスポーツ

◇総合型地域スポーツクラブの育成・充実

「総合型地域スポーツクラブ」の活動の充実化(質の向上)を図るための支援事業を推進

○クラブの育成・活動の充実化

- ・県クラブアドバイザーによるクラブへの巡回指導(48クラブ、111回)  
実態を把握したクラブアドバイザーが個々の事例に応じ、きめ細かく指導

○クラブへの参加促進の新たな取り組み

- ・特に参加率が低い世代に対し、健診・保健指導の場を通じてクラブをPR

「健康づくりのための運動・実践の場」としてクラブを紹介

○大型商業での総合型地域スポーツクラブPRイベント開催

- ・8/9 イオンモール大和郡山  
参加者500名
- ・8/22 イオンモール高の原  
参加者450名

両日とも奈良女子大が実施する健康キャラバンと連携

○健診・保健指導

市町村国保、企業保険※等の保険者が実施する指導機会を通じてクラブ紹介  
(リーフレット 3,000部配布)  
※協会けんぽ 奈良支部協力



◇子どもの運動・スポーツの推進

◎第11回市町村対抗子ども駅伝大会

【開催日】平成28年3月5日(土)

【場所】馬見丘陵公園特設コース

【参加者数】(駅伝) 38市町村 37チーム 304人  
(タイムトライアル) 127人



II 地域で楽しむスポーツ

◇スポーツイベントによる地域の活性化

◎奈良マラソン2015(第6回大会)

【開催日】12月12日(土) 3kmジョギング  
13日(日) 10km、マラソン(42.195km)

【出走者数】3kmジョギング : 1,316人  
10km : 4,024人  
マラソン : 12,211人



- ・県民特別枠(2,000人)を設定
- ・外国人ランナー 413人がエントリー
- ・EXPO会場来場者 延べ約91,000人
- ・4,383人のボランティアによるおもてなし(うち高校生ボランティア1,134人)



- ・寒さ対策として、新たに防寒用ビニールウェアを配布し、参加者にやさしい大会を目指す。
- ・台湾マラソンとの交流により、海外ランナーへのPRを強化し、マラソンを通じた国際交流、インバウンドの強化を図る。

◇スポーツイベントによるにぎわいづくり

◎サイクルスポーツイベント開催支援

- ・ヒルクライム大台ヶ原(9/13) 778名出走
- ・山岳グランfondin吉野(7/12) 434名出走
- ・ツアーオブ奈良まほろば(9/6) 629名出走



◎第3回 奈良RUN×2リレーマラソン開催

【開催日】平成27年11月29日(日)

【場所】県立橿原公苑特設コース(1周1500m)

【参加者数】(20kmの部)76チーム 460人  
(42.195kmの部)144チーム 1,328人



H27年度 主要事業報告

Ⅲ あこがれ・感動を生むスポーツ ①

◇選手発掘、育成強化に対する支援

◎オリンピック・パラリンピックをはじめとする国際大会で活躍できるアスリート発掘育成事業

○国立スポーツ科学センター連携事業

【期 日】

平成27年12月23日～26日（3泊4日）

【参加者】

テニス(選手12名・指導者3名)

陸上競技(選手13名・指導者2名)※各競技団体より推薦

【内 容】

- ・国立スポーツ科学センターにおけるメディカルチェック
- ・ナショナルトレーニングセンターでの、ナショナルコーチの指導による合宿トレーニング



○パラリンピックタレント発掘育成事業

【発掘イベント】

陸上競技(9月21日 橿原陸上競技場)29名参加

水泳(12月6日 スイムピア奈良)15名参加

【育成練習会】

陸上競技(1月23日・2月20日)・水泳(2月21日)

【指導者】

日本パラ陸上競技連盟・日本身体障がい者水泳連盟より招聘



◎まってる！花園

【期 日】

平成27年12月23日～27日(5日間)

【会 場】

県立橿原公苑陸上競技場

県立御所実業高等学校

【内 容】

- ・県内外高校ラグビーチームによる強化試合(42校参加)
- ・ラグビーワールドカップ2019を見据え、小学生及び中学生のラグビー交流大会の実施(664名参加)



◇スポーツによる地域振興

◎大相撲優勝力士への「奈良県知事賞」贈呈

- ・贈呈力士 平成27年 1月白鵬 5月照ノ富士 9月鶴竜  
平成28年 1月琴奨菊 3月場所(贈呈予定)

・贈呈品目

- 表彰状 賞金
- 力士像をモチーフにしたトロフィー
- 県産品による「ちゃんこ大和づくし」300人前(後日部屋を訪問し贈呈式)



◎「相撲発祥の地奈良県」体験ツアー

【期 日】平成27年10月4日

【参加者】バスツアー参加者111人  
イベント参加者約400人

【場 所】桜井市、葛城市

【内 容】

- ・相撲神社 ガイドの解説、郷土出身徳勝龍関との記念撮影
- ・葛城市文化会館 徳勝龍関、勢関、錦木関のトークイベント、相撲甚句
- ・けはや座 施設内の見学、土俵での塩撒き、四股踏みの実演



◎相撲部屋との交流イベント

高砂部屋 平成28年1月16日(小学生11人その保護者10人)

- ・朝稽古見学、ちゃんこ会食、午後大相撲1月場所観戦

録山部屋 平成28年2月27日(児童生徒19人 保護者7人)

- ・朝稽古見学、相撲体験、ちゃんこ具材贈呈式、会食

浅香山部屋 平成28年3月5日(児童生徒21人 保護者12人)

- ・朝稽古見学、相撲体験、ちゃんこ具材贈呈式、会食





H27年度 主要事業報告

Ⅲ あこがれ・感動を生むスポーツ ②

◇トップアスリート等との連携によるスポーツの推進

◎ラグビーワールドカップ・東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致

○ラグビーワールドカップ2015イングランド大会視察(平成27年10月)

キャンプ地視察(Hartpury College London Irish RFC)  
ファンゾーン視察  
日本代表試合観戦  
ラグビー市訪問  
南アフリカキャンプ地  
(Penny Hill Park)訪問



○オーストラリア女子サッカーナショナルチーム事前キャンプ

【期間】平成28年2月22日(月)から2月27日(土)  
【人数】選手21人 役員、スタッフ:14人  
【練習場所】奈良市 鴻ノ池陸上競技場  
【宿泊場所】ホテル日航奈良  
【内容】・歓迎レセプション



・公開練習・交流イベント(サイン会、記念撮影)  
・奈良観光  
・リオデジャネイロオリンピックアジア最終予選大会  
日程 平成28年2月29日(月)～3月9日(水)  
場所 大阪市 キンチョウスタジアム  
ヤンマースタジアム長居  
出場チーム 日本 朝鮮民主主義人民共和国 オーストラリア 中国  
韓国 ベトナム



ヘッドコーチコメント:「練習環境、宿泊施設には満足しているし、奈良のホスピタリティには非常に感謝している。」



○キャンプ地招致PR事業

【名称】目指せ！キャンプ地wakuwaku体験in奈良

【期日】平成28年3月6日(日) 13時～17時

【場所】県立橿原公苑第1体育館

【参加者】約250名

【内容】

アスリートによるトークショー、実演

- ・ラグビー NECグリーンロケッツ 土井 貴弘 選手  
近鉄ライナーズ 佐藤 幹夫 選手
- ・パラリンピアン  
(一社) 日本パラリンピアンズ協会 根木 慎二 副会長  
(一社) 日本パラ陸上競技連盟 花岡 伸和 選手
- ・女子ホッケー 南都銀行 SHOOTING STARS  
眞鍋 敬子 選手、谷口 育代 選手  
中川 知佳 選手

体験イベント

- ・ラグビー体験、タグラグビー教室
- ・タグラグビー試合観戦
- ・タグラグビーW杯シニア2015日本代表選手による試合
- ・キャンプ地招致展示啓発展示ブース

奈良県PR用パンフレットの作成

〔冊子1〕ラグビーワールドカップ2019  
英語版 (3,000部)  
フランス語版 (500部)

〔冊子2〕2020年東京オリンピック・パラリンピック  
英語版 (3,000部)  
フランス語版 (500部)



## H27年度 主要事業報告

## Ⅲ あこがれ・感動を生むスポーツ ③

## ◇トップアスリートの活用

## ◎スポーツイベント・スポーツ教室の開催

## ○バトンをつなげ！400mリレーフェスティバル

北京オリンピック400mリレー銅メダリスト朝原宣治氏、日本代表選手ら8名による陸上競技教室、400mリレー競技技会

【10月17日(土) 小学生以上 137チーム 548名が参加】



障がい者陸上日本代表



ケンブリッジ飛鳥選手



小学生クラブチームの部



福島千里選手

## ○奈良クラブによるサッカー教室

奈良クラブ選手によるサッカー教室。選手とともに参加者が、ドリブル、パス、シュート、ミニゲームを実施。

【10月18日(日) 小学生 141人が参加  
(3月27日(日)にもサッカー教室を実施予定。)



## ○日本代表スイマーによる水泳教室

ユニバーシアード日本代表選手らとコーチ(中央大学 佐々木祐一郎コーチ、長谷川純矢選手、江戸勇馬選手、川本武史選手)による水泳教室。コーチ、選手のティーチングのもと、水泳技術を習得。

【2月28日(日) 5歳～中学生 103人が参加】



## ○プロ野球選手による野球教室

- ・障がいのある子どもたちや、小学生低学年児童等を対象としたプロ野球選手(オリックス・バファローズ)とふれあう合う野球教室を開催。
- ・野球教室の前には、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦の試合を観戦。

オリックス・バファローズvs中日ドラゴンズ  
【4月12日(日) 40人が参加】

オリックス・バファローズvs阪神タイガース  
【9月23日(水祝) 138人が参加】



## ◎プロスポーツ観戦機会の創出

## Objリーグ「バンビシャス奈良」公式戦観戦

「バンビシャス奈良ホーム」試合に小学生を招待

【14試合に招待 合計1,397人】



## ○プロ野球「オリックスバファローズ」公式戦観戦

オリックスバファローズ協賛企業等から県に寄付していただいた「年間シーズンシートチケット」(1,710人分)を活用

- ①特別支援学校在籍の生徒と保護者を、

「京セラドームプロ野球観戦バスツアー」に招待

7月20日(月祝) 72名(36組)

9月26日(土) 57名(28組)

- ②社会福祉・児童福祉団体、特別支援学校へ譲与(52団体)





## H27年度 主要事業報告

## IV スポーツ環境の整備

## ◇トレーニングセンター整備の推進

## 1 平成26年度までの取組

- 東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、スポーツ医科学機能、高度なトレーニング機能を有するトレーニングセンターを整備し、国際舞台で活躍できるトップアスリートの育成などについて検討を実施。
- 平成26年度に有識者からなる「奈良県トレーニングセンター構想検討委員会」を設置し、整備予定地や重点強化競技等、基本的な考えについて提言をいただいた。

## 【トレーニングセンター構想検討委員会】

整備予定地や重点強化競技のほか、施設の内容や機能等について検討。

〔平成26年度 3回開催〕

〔委員メンバー〕

- 川原 貴(国立スポーツ科学センター センター長)
- 福井 烈(日本オリンピック委員会 理事)
- 勝田 隆(ナショナルトレーニングセンター 副センター長)
- 山口 香(日本オリンピック委員会 理事)
- 久野譜也(筑波大学大学院 教授)

〔整備予定地〕

まほろば健康パーク隣接地

〔重点強化競技〕

テニス・陸上・水泳

## 2 平成27年度取組

- 「奈良県トレーニングセンター構想検討委員会」の提言をもとに、トレーニングセンターの整備運営等について、PFI等事業スキームや効率的・効果的な運営モデルの検討を実施。
- 検討にあたっては、大学教授など有識者との意見交換や、スポーツメーカー、ゼネコン、ホテルなどの民間事業者等からのヒアリングを実施。
- スポーツ医科学研究のあり方や導入機能・実施体制等について、早稲田大学との連携により調査・検討。

## ◎これまで検討してきた中でわかったこと(今後の検討方針)

- ・アスリート育成手法や理論が確立されていない。
  - ・優秀なコーチを集めて選手強化を行っても、後が続かない。
  - ・単なるトレーニング用の施設になってしまう。
- ⇒スポーツ医科学に基づき、**年齢や発達段階に応じた手法や理論を確立することが必要。**

懸念

## ◇その他、スポーツ施設の整備、検討

## ◎明日香庭球場クラブハウス等の整備

- ・平成27年6月28日(日)竣工
- ・クラブハウス新築、テニスコート(8面)人工芝化、四阿設置。
- ・コート総面数28面を有する、全国有数の大規模庭球場であり、H27インターハイ(7月28日～8月4日)ソフトテニス会場として全国から選手や指導者、観客など約47,000人に利用いただいた。
- ・以後、近畿高校テニス大会等の各種大会が開催され、平均 5,000人/月のテニスプレイヤーが利用。



## ◎橿原公苑におけるネーミングライツの活用

## ○佐藤薬品スタジアムの整備

- ・ネーミングライツ命名権料を活用し、利用者の利便性、快適性を高める整備を実施。
- ・外野南側の樹木の伐採・剪定、観客席スピーカーの交換

## ○第一体育館へのネーミングライツの導入

- ・平成28年度より新たに、第一体育館へもネーミングライツを導入するため、ネーミングライツ・パートナーの募集(2月15日～3月18日)を行っており、今後選定を行う予定。